

佳作 “マイ・リトル・アドベンチャー” でえたきちよな きょくん



アニサ サフィトリ

ANISA SAFITRI

国 籍 インドネシア

職 種 電子機器組立て

実習実施者 テクノセンター株式会社

監 理 団 体 TWG 外国人育成就労協同組合

ある日、家の近くの公園で遊んでいると、くものすにことりがとらえられているのを見つけました。鳥は自分自身をかいほうしようとして懸命に努力しましたが、うごけばうごくほど絡まってしまいました。私はその鳥がかわいそうで、助けてあげたいと思いました。私は何も考えずにその鳥に近づき、くものすから鳥をかいしようとしました。しかし、がんばればがんばるほど、この仕事はむずかしくなっていくます。悔しくて諦めそうになりました。しかし、ただ諦めるわけにはいかないことを思い出しました。何度もちょうせんし、ついに鳥を放すことにせこうしました。鳥が自由にとび回っていたので、私はとても幸せでほこらしいきもちになりました。人生においては時には困なんに直面しても粘り強く、決して諦めないことがひつようであることを学びました。私が学んださいしょのきちょうなきょうくんは粘り強さでした。決意と努力があれば、のぞむことは何でもたっせいできることを学びました。私は小鳥の命を救った小さなヒーローになったような気分でした。

鳥をはなした後、私はにわにすわってこのけいけんをふりかえりました。助けたいときも注意がひつよだったと

気づきました。ばあいによっては私たちのしんせつなこうどうが状況をさらにこんなにする可能性があります。たとえ私たちのいとかよかったとしても、だれもが私たちのえんじょを快く受け入れてくれるわけではない、と母がかつて私に話したことを覚えています。こうどうする前に考えることがじゅうようであり、こうどうの結果を考りよするひつようがあることを学びました。

そのとき、私は公園で泣いている同い年の男の子を見かけました。私はかれにちかづき何が起こったのかたずねました。かのじょはお気に入りの人形をなくしてしまった、とかれにはなしました。私はかのじょに同情し、人形を見つけるのを手伝いたいと思いました。一緒にこうえんを探し回って、しばらくして、ついに木の下に人形を見つけました。少年はほほえんで私にかんしゃした。私はかれの役に立てることがうれしく思いましたし、このような小さな行動がたの人を幸せにすることができることをしりました。

私の話は日常のけいけんがどのように私たちにきょうなきょうくんをあたえてくれるのかを示すかんたんなれいです。毎日が学び、せいちょうし、よりよいにんげんになるきかいです。私はしょうがいをとおしてきょうなじんせいのきょうくんをしゅうしゅうしつづけ、このやさしさとちえをたのひとたちときょうゆうできることをねがっています。

ほくはけつい、きょうかん、しょうじきさ、やさしさについてまなびました。このレッスンはにちじょうせいかつにやくだつただけでなく、しょうらいよりよいにんげんになるのにもやくだちます。ありがとうございます